

日時：2021 年 6 月 3 日（木）17:00～19:00

場所：Microsoft Teams を用いたリモート会議

出席者：坂本慎一（主査），河原塚透（幹事），平栗靖浩（幹事），會田祐，池上雅之，石渡智秋，佐久間哲哉，
佐藤洋，杉江聡，辻村壮平，富来礼次，富田隆太，中川武彦，中澤真司，羽入敏樹（前主査），平光厚雄，
星和磨（敬称略）

欠席者：古賀貴士，浜田幸雄（敬称略）

提出資料：

資料1-0 2021年度第1回音環境運営委員会議事次第

資料1-1 2020年度第4回音環境運営委員会議事録（案）

資料1-2 2021環境工学本委員会（第1回）議題

資料1-3 2021環境工学本委員会（第1回）資料

資料1-4 委員の委嘱・解嘱(案)

資料1-5 AIJ若手優秀発表依頼状2021

資料1-6 AIJ2021若手優秀発表採点シートサンプル

議題：

前回議事録（2020 年度第 4回）を確認した。承認（資料 No.1-1）。

1) 自己紹介

2) 環境工学本委員会の報告（資料 No.1-2,1-3,1-4）

- ・ 2021年度環境工学本委員会組織、委員長は秋元先生（芝浦工大）、7名の新委員。
- ・ 学術推進委員会：2020年度活動報告を本会ホームページに掲載。
- ・ 決算状況はすべての委員会で消化率1～2%（新型コロナの影響を受け旅費がほとんど使われていないため）
- ・ 2021年度鹿島学術振興財団研究助成金は環境工学では高田先生（神戸大）が採択。
- ・ 2021年度竹中育英会応募状況、全37件のうち環境工学は16件と例年通り活発。
- ・ シンポジウム（東日本大震災10周年を機に頻発する複合災害を考える）が3月6日に開催され、環境工学からは秋元先生が講演、複合災害に関するWGができる予定。来年は関東大震災から100年のため何か同じような企画があるのではないかと。
- ・ 建築学会SDGs宣言文が完成。大会原稿提出の時に該当項目を選択してもらっている。その結果は分析中。
- ・ 2020年度講習会実施結果：音関係は既刊本講習会「日本建築学会環境基準 学校施設の音環境保全規準・設計指針（AIJES-S0001-2020）」、講習会「日本建築学会環境基準 スピーチプライバシーの評価規準と設計指針 - 音声情報漏洩防止（AIJESS0003-2021）」の2件
- ・ 2020年度シンポジウム実施結果：音関係は「第80回音シンポジウム（室内音響小委員会）」の1件
- ・ 建築学会直営刊行物（和書）の電子書籍刊行の一部の見直しについて：見直されたのは、「電子書籍化は当面「小部数刊行内規」に該当する販売見込数が500 程度以下、かつ学術団体として刊行する意義があるものと刊行委員会が承認した新規の刊行企画が対象」の部分と、流通経路に建築学会HP「建築書店」からPDFのダウンロード販売を追加。理事会承認済みではあるが何かあれば意見を。
- ・ 2021年度大会関連：本年もプログラム編成が完全オンラインで行われた。新しくオンラインで入力できるシステムが導入された。特にトラブルは無し。来年もおそらく同じ方式で行われるであろう。音環境はメールでのみ行われたが、時間が1週間くらいあったため、少し間延びしてしまった感があった。来年度はオンライン会議を1回でも開催し、精度の高いプログラムを時短でまとめて行く方向。発表件数は6,246件で昨年（6,662件程）より若干少ない。環境工学だけでみても1,169件で昨年（1,245件）よりも少ない。OSはテーマ「建築空間の音環境整備と吸音」で6件。4日目（9/10）に環境研究協議会が予定され、音関係では杉江さんが講演。
- ・ 学会賞（論文）受賞者、本年は環境工学では鍵先生1名であったが、例年2～3名いるので応募をよろしくお願ひします。
- ・ 大会発表方法：1題の持ち時間は5分（発表1分+質疑応答4分）、事前にビデオで提出する5分間の発表「オン

「デマンド発表」を視聴していることを前提とする。1分間の発表「概要発表」はスライドを画面共有して行う。司会者は担当セッションのビデオを事前に時間、商業的内容、誹謗中傷などについて確認。若手優秀発表賞は例年通り30歳未満を対象とし、10%程度の割合で授賞。質疑討論の出席を対象とし、概要発表および質疑対応を審査。

- ・ 第33回環境工学連合講演会：「SDGsに向けた環境工学の役割」が5月25日にオンライン開催。
- ・ 建築学会環境基準：AIJES提案の際は作成フローをしっかりと参照すること。改定の際は改定フローを参照。
- ・ 刊行計画書：数値シミュレーションー波動音響解析の技法と応用ー[第二版]の刊行が承認された。
- ・ AIJES刊行方針検討WGが設置された。分野を横断した基準の必要性、海外の指針を取り込む仕組み、番号の振り方などを議論しまとめる。音関係からは上野先生（幹事）、池上さん（委員）が参加。音環境は現状3冊刊行があり積極的に取り組まれているという紹介があった。次回のWGにて音環境で検討しているAIJESの全体像を紹介予定。
- ・ 委員の委嘱・解嘱：室内音響小委員会集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（解嘱：1名、委嘱：1名）、企画・広報WG（解嘱：2名、委嘱：3名）、建築音響測定法小委員会（解嘱：5名、委嘱：4名）が承認された。
- ・ 2021年度環境工学本委員会開催スケジュール：第1回本委員会 6月1日（火）14：00～17：00、第2回本委員会 9月30日（木）14：00～17：00、第3回本委員会 11月11日（木）14：00～17：00、第4回本委員会 2022年3月1日（火）14：00～17：00
- ・ 環境工学委員会内の各研究領域とSDGsとの関係に関する取り組みの進捗状況報告のお願いがあった。この後、アンケート調査がある予定で、音環境分野での取り組みと進捗状況について示す必要がある。2年前に学会でのSDGs活動が本格化するにあたり、各運営委員会でどのように関わるのか、関われるのかといったアンケート調査があった。活動内容に即した形で答え、運営委員会で承認後提出しているという経緯がある。今回は2年間の成果、進捗状況をそのまま答えればよいので、主査・幹事で案を作成する。

3) 審議事項

- ・ 大会若手優秀発表賞選考について：例年と同じ基準、方法で審査。音環境運営委員会委員と司会、副司会が採点。時期が来たらエクセルの採点表をメールにて配布。

4) 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会

- ・ 本年度1回を6月14日に開催予定。新幹事に田中（ひ）さん、平川さん。昨年度事務的に平川さんが正式な委員となっていかが漆戸旧主査に確認。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ 主査欠席のため報告なし

③ 建築音響測定法小委員会

- ・ 本年度1回を5月11日に開催。退任5名、新任4名と大幅な体制変化あり。幹事は杉江さん、竹林さんが継続。
- ・ これまでの活動の振り返りと今後の活動について議論。数値解析小委員会とのコラボレーションを見据えた実験（箱型試験室の音響エネルギー密度の計測）第2弾を今月計画。

④ 室内音響小委員会

- ・ 本年度小委員会としての開催無し。
- ・ 子どものためのWG：大会OS準備。共同執筆し投稿。個人ごとに活動継続中。
- ・ 啓発コンテンツWG：noteでの発信のための準備。小委員会に諮り正式に運用開始予定。
- ・ 吸音設計AIJESWG：規格案作成中。
- ・ インパルス応答予測計測WG（廃止）：HPは成果を整理し、継続運用。HPのリンク先、記載方法など検討中。

⑤ 音響数値解析小委員会

- ・ 本年度小委員会としての開催無し。
- ・ 前回報告からの進捗状況：3月23日にオンラインで開催。
- ・ 「シミュレーション活用による伝送系データベース」：解析事例について議論。データベースを作成した場合のコンテンツ等についても議論開始。
- ・ 音響数値解析ソフトウェアの開発普及WG関連の議論。昨年度末で廃止。整備した書籍に関連したプログラムの整備は継続。
- ・ 解析結果の実用化に関する検討。昨年度延期したシンポジウム開催に向けて継続検討。1月には開催希望。建

築音響測定法小委員会とのコラボ。

- ・ 書籍刊行について。章ごとのチェックを終える時期ではあるが、少々遅れている。→刊行小委員会：5月末にあら原稿を取りまとめ、企画計画書を企画刊行運営委員会へ提出済。12月の刊行を目指す。9月末には版下原稿提出が必要。音環境運営委員会で査読。
- ・ 本年度第1回は6月11日開催予定。

⑥ 音環境規準検討小委員会

- ・ 本年度第1回は5月13日開催。
- ・ 2021～2022年度の目標設定：改めて集合住宅のAIJESの刊行を目指し、刊行が軌道に乗るよう枠組みを整備することを目標。1)集合住宅AIJES刊行に関する音環境分野の意見の集約、2)集合住宅AIJES刊行準備小委の組成。
- ・ 取り組み：2020年度までの議論も踏まえ、上記1)の進め方を本小委内で議論し実施に移す。
- ・ スケジュール：上記の「本小委の取り組み」は2021年度に実施したい。またできれば2022年度、遅くとも2023年度に上記2)の委員会の活動開始を目指す。
- ・ 今後の予定：第2回 7月1日、第3回 9月2日

⑦ 企画・広報 WG

- ・ 本年度第1回は6月17日開催予定。
- ・ 退任2名、新任3名と大幅な体制変化あり。幹事は中村さん、小柳さん。建音検索の整備などを継続的に行う。
- ・ 情報共有：日程調整の際にメーリングリストを使ったが、一部に配信されない事案があった。原因はサーバー上でなりすましメールと判定されたため。

⑧ その他

- ・ 司法支援建築会議：5月17日シンポジウムを開催、テーマ「建築紛争事例にみる専門家の説明責任」、60名の参加。環境分野の講演者に吉野先生・稲留さん。同全体会議で、名誉司法会員として安岡正人先生が推挙。感謝状が橋本先生、黒木先生、藤本先生、松本さんに贈呈。
- ・ 運営委員会のHP更新について：小委員会HPの更新は小委員会で行う。委員交代のあった小委員会は情報更新のこと。
- ・ 音シンポジウム第79回から更新されていないので1月に行われた第80回の情報を追加する。
- ・ 8年間の継続推薦が実り、安岡先生が建築学会大賞を受賞。継続して推薦続けることが重要なので、次の候補者を早めに。

5) 各他学会・研究会の予定

- ① 日本音響学会・建築音響研究会：6/25、7/21 オンライン、11/9 九州大学（騒音振動研究会と共催）、その他は計画中。
- ② 日本音響学会・騒音振動研究会：6/23 オンライン、HP 参照

6) フリーディスカッション

- ・ 前フェーズでは音環境研究の社会還元促進について意見交換を行ってきた。羽入前主査がその意見を集約し、資料にまとめている。今フェーズでも有効な方策を議論し実施していきたい。資料は共有する。
- ・ 今後も、まずこの資料をベースに議論を深めていく。

7) 次回以降の予定

第2回：2021年 10月 4日（月）17:00-19:00（本委員会 9/30）

第3回：2021年 11月 15日（月）17:00-19:00（本委員会11/11）

第4回：2022年 3月 3日（木）17:00-19:00（本委員会 3/1）

以上